



早春の中荒井村の種籾共同消毒風景 (42.4.24)



下米塚の苗代づくり (42.4.24)



農業構造改善事業実施地域の共同田植

た。保温折衷苗代、おか苗代などの普及したのは、昭和二十年の敗戦後で、近年ビニールがはやってきて、苗代の速成ができるように変った。これもめまぐるしい苗代つくりの変化である。

4、田うない 明治初年までは平鍬が主であったから、田うないも平鍬でしていたらしい。明治中頃になって三本鍬がはいつて、うない易くなった。重労働であるが、きれいにうなって積み重ねていく技術も楽しみであった。乾燥したところで、まんのう鍬でこわして歩いた。

馬耕鍬がはいつたのが明治末で、たちどころに畜力に移り、鍬にもいろいろの改良を加えられたが、戦後自動